



園長だより

令和7年5月30日

5月号
～HP版～

ゴールデンウィーク前 園庭の風景(13:00頃)



また一定の期間に、こういう遊びの様子をお知らせします。

というのも、子どもたち自身の成長や遊びの変化が必ずあるからです。この写真を見ると、大きな特徴が見られます。意図的にこの写真を載せたのではなく、こうして並べて、はっと気づきました。私としては、とてもいいことだと思います。これは、きっと年月とともに変化してくると思います。それは、遊んでいる子たちの帽子の色です。他クラスの子とも同士以上に、他学年の子どもがかかわって遊んでいます。それに、先生がソフトフープで蝶の羽を作っていると、上の写真のように子どもが集まってきます。私が花を整理して、ほしい子にあげていても、それに気づいた子がかかわってきます。なんてことのないように思うでしょうが、自分で園内のこういう情報を察知して、「僕も私も」とかかわってくるのです。こんなたくさんの成長あってこそその動きになっていると思い、とても興味深く見えています。(2色帽子=年少 オレンジと青=年長)

「えんちよせんせい これほしい」「ふくろしばって」「これ花のあかちゃん?」「こうやってここに花をつけたい」「この花じゃなくて、黄色いの」朝や昼に花の手入れをしていると年少の子たちがやってきます。数人いて同時にしゃべりだします。子どもにとったら、相手と私、一対一の会話だと思っているところがかわいい。うまく受け答えすることが今の大きな課題です。



今年もミニSLと新幹線に乗りました。これは年長の写真。多い子で3回目の体験でしょうか。

次の日には、未就園児が「あさはたキッズ広場」で、楽しみました。今年から料金をいただきましたが、自由に何回でも乗れるように時間を設定しました。その後も遊戯室でたっぷり遊ぶことができたと思います。エアトランポリン満喫しています。次回も楽しみです。



縦割り 第1回目の縦割り活動 みんなでダンスを踊りました。

誕生会の後はいつもお楽しみが組まれています。縦割り活動は異学年との意図的なかわりの場として、計画的に行っています。



麻機幼稚園の自然



左は園庭にある「なんじゃもんじゃ」の木。これは4月の終わりですが、見事に花が咲いています。幼稚園の広場にも大きな木があります。市内の公園にあるこの木が花咲くと毎年、新聞の記事になるほど、珍しいようです。

卒園式や入園式を花いっぱいになしようと育ててきた花たちも次々に終わりを向けました。

「各色スターチス」「矢車草」はまだまだこれからも咲きそうです。

パンジーとビオラはいよいよ終わりです。今度は夏に向けて、マ〇〇〇—〇〇を育てます。今は双葉の苗が30くらい育っています。夏と言えば、朝に咲く朝顔。たくさん咲いて、たくさん種を取ることができるようにしたいなと。けれども、花は夏休み中になってしまうかもしれません。

メダカも卵を産みました。かえりそうもないけれど、全12匹が元気に泳いでいます。やはり、子どもたちが卵を見つけて教えてくれました。カメはもう少し人前に出てきてほしい。勝手ですが。



保育室の前に人だかりが。 年長？

どんな集まりかな？ 右の写真の動きは、そうか

一人一人を見ていくと、大きな成長がみえるはず。ま

ずは、自分の好きな遊びを見つけること。これは大事な要素。

好きな遊びをやるから、一緒にやりたいという思いも膨らむ。一緒に遊ぶと自分なりの主張があるから、きつとトラブルになる。この経験が幼稚園では最も大事なことだと思っています。

そして、トラブルをどう解決できるか、どう自分の気持ちを切り替え得られるか等を学ぶ。この時に、先生がどうかかわるか。

「子ども同士」というのは、先生がいてもいなくてもいいということ。先生でなくてもいいということ。ここはきちんと何が正しいのか、どうすればいいのかを学ぶ場にするのがプロとしての先生の在り方。そういうのがきちんとできてこそ「子ども主体」です。これは、先生としての力量も必要で、意識(その子をどう育てたいかという思いや願い)が高くないとできないことなのです。幼稚園だからこそ、じっくりと学べることです。

園庭での遊びの定番「しっぽとり」



5月24日(土) 親子ふれあい Day 「ミニ運動会」



親子の前に、全員でしっぽとり

お家の人に手を引かれてしっぽとり。お父さんのパワーがすごい。 大人も本気がすばらしい!!



「お菓子とり競走」皆さんには言っていないのですが、お菓子の中に当たりがあつて、ガムが余分に入っていると。さすがに、口で取る子はいないのです。お菓子より、お家の人に肩車されていることが一番うれしいのかもね。最後までお家の人とスキンシップを楽しんだ土曜日でした。お疲れ様。